

じゃりみち

……仮設支援情報……



第29号 発行日 1996. 11.7

阪神・淡路大震災

「仮設」支援NGO連絡会

〒653 神戸市長田区御蔵通5-5

TEL: 078-578-6921 / FAX: 078-578-6923

E-mail: ngoteam@mb.osaka.infoweb.or.jp

口座番号: 01180-6-68556 (郵便振替)

決行全体会のお知らせ

先月に第5週をはさみましたので3週間ぶりのじゃりみちですね。ずいぶん寒くなり、風が身にしみます。風邪をひいている人をちらほら見かけます。お大事にしてくださいね。

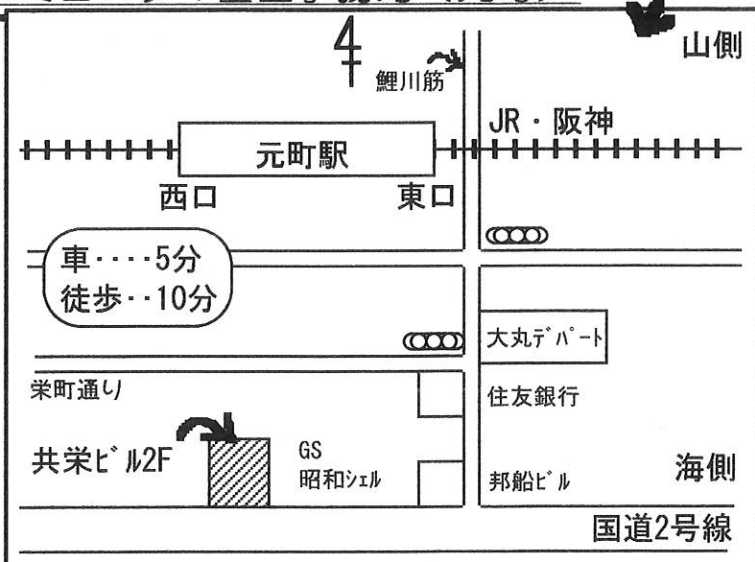
さて、次回の全体会は…もう一度「仮設」NGOについてフリーに話し合ってみようということになりました。

**11月13日(水) 18:30～ 阪神・淡路コミュニティ基金事務局の隣の会議室
阪神・淡路コミュニティ基金事務局(元町)**

全体会の報告

前回の全体会は、各団体の持ち回りの司会第2弾で、「心のケアネットワーク姫路」の岸岡さんが司会をして下さいました。2時間のうち1時間半を使って、情報交換、こころの健康体操、自己表現、振り返り作業などをしていただきました。いつも静かで固い雰囲気の中で、この時はせまい部屋で身体を伸ばしたものですから、そのにぎやかなこと。事務作業マシンの私も久しぶりに動いたせいで筋肉痛になりました(情けなや)。

体操のあとは、「自己表現」ということで、今の気持ちを絵にして表現するという作業をしました。それぞれの関わり方の想いや悩みを表現し、自分を、その人を知るといったようなものでした。最近疲れ気味の方が多いという岸岡さんの提案から行われたものですが、今までとまた違った全体会を持つことが出来たのかな?と思いました。



〒650 神戸市中央区海岸通2-1-2 共栄ビル2F
TEL 078-333-4335 ※駐車場はありません!

こどもわくわくプロジェクト



「仮設」NGOの事業にある、共同プロジェクト。ふれあいセンターでのコミュニティづくり、こころのケア、移送などなどいろいろなプロジェクトがあります。これから少しずつ紹介していこうと思います。

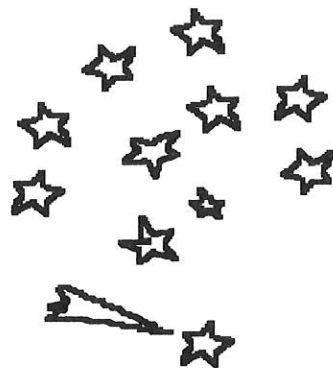
カレーライスに、ぎゅうぎゅうおにぎり、とびきり大きいホットケーキ。西神第7の仮設住宅の子どもたちの中で今流行中!の遊びは・・・そう、クッキング! 慣れない手つきの子どもから、「よっシェフ」といった見事な手つきの子どもまでとにかく楽しいお料理会です。苦手なにんじんも自分で切って料理すればお口の中に入ってしまうから不思議です。「いつも土曜日一人やからみんなで食べれてラッキーやわ。」「おかあさん仕事で遅いから少し持ってきて帰ってもええ?」など料理を作る思いもいろいろあるけれど、地元のボランティアの協力を得て、こどもプロジェクトは順調に進んでいます。

(SVAスタッフ喜多村慎子)

< 仮設は今... > 東灘区編

よろず相談室は東灘区の御影中仮設住宅、御影公園地域型仮設住宅を軸として活動しています。先日11月3日に、御影公園にて仮設住民と仮設住宅のまわりにいる地域住民との交流を目的とした日用品バザー、炊き出し、そして御影公園から見える星をみんなで観測するという、「星のプログラム」というイベントを開催しました。ただ単に仮設住民のためだけでなく、「地域のみなさんも一緒にどうぞ」というものです。御影中仮設住宅、御影公園地域型仮設住宅とも地域との交流がほとんどありません。このままの状態では非常に人間として寂しいものがありますし、あの震災ではみんな同じようにつらい目に遭ってきたのです。ですから「助けあい」という気持ちが芽生えたあの時のように、お互いが仲良く助けあいながら、この先、生活していくことが出来るようになっていければいいのではと思って企画しました。ちなみに仮設住宅に住んでいる元気な人や地域のおばちゃんたちにもスタッフとして手伝っていただきました。今までこのようなことをしたことがなかったんですが、やってみると、「こんな初めてやったから良かったよ。ありがとう。」という意見が返ってきました。今まで知らなかった仮設住宅の方たちなどともお話が出来たので、これからの活動もしやすくなることと思います。今の仮設住宅の現状として、やはり高齢の方や、身体が不自由な方が圧倒的に多く、自室にこもりつきりという方もいらっしゃるようです。これでは地域との交流などは、難しいはずですが、これからも、より一層地域との交流が深まっていくように橋渡しが出来ればいいなあと思っています。

よろず相談室 山形 康一



ガレキは走る

(全国キャラバン日程表)



11/11~14	東京都	豊島区	立教大学学園祭	講演・ガレキパル	(村井)
11/17	京都府		ゆめっと京都会場	ガレキパルグッズ販売	
11/18~24	愛知県	豊田市	憩いの家	ガレキパルライブ (23日)	(石井)
11/23	高知県	西土佐村	健康まつり	講演	(市川・喜多村)
12/6	東京都	豊島区	立教大クリスマスイベント	講演・ライブ	(神田神父)
12/7	東京都		明星大学	ライブ	(石井)
12/14	広島県	芦品郡	チャリティコンサート	講演	(石井)

会場、時間など詳しいことに関しては「プロジェクト結ぶ」の石井 布紀子さんまで。
プロジェクト結ぶ：0798-64-5829 (FAX 0798-65-5254)

阪神・淡路大震災復興の光と影

日時：12/7 (土) 13:00~16:00

会場：明星大学日野校舎 学生会館22号館2階第2会議室

交通：京王線多摩動物公園駅 下車改札左へ徒歩7分

参加費：無料

講演者：石井 布紀子 (プロジェクト結ぶ 代表)
田中 保三 (兵庫商会 社長)
浅野 幸子 (SVA、まちづくり事務局)
明星大学人文学部社会学科 渡戸ゼミ主催
発起人：渡戸一郎 (社会学科教員) 0425-91-9403
実行委員長：米川佳男 (社会学科3年)



未使用

てれぶおんかーど、く・だ・さ・い♡

ロッキー田中さんという風景写真家の方が、「富士山」の写真を通じて仮設の方々を支援したいと、自主的にチャリティ写真展を企画し、これまでに2回、作品展の収益を私たち「仮設」NGOに届けて下さいました。その方からのお手紙を紹介します。

7月に事務局を訪問してから4ヶ月が経ちました。4月からの写真展も10回を終えましたので、今までの活動（といえるほど大したことはやっていませんが）をお知らせいたします。

私が「震災復興支援ロッキー田中チャリティ写真展・・・富士山」をやろうと思ったのは2つの理由があります。ひとつは日本人の「喉元過ぎれば熱さ忘れる」癖です。あれほどの大災害、そして連日仮設住宅のお年寄りのことをテレビで流しているのに行動を起こす人がいないのです（被災地から遠く自分の痛みとして感じるができない、またたくさん情報のひとつとして埋没し、日々の自分のことで一杯という特性があるかも知れません）。これで良いのかと考え込みました。もうひとつは自分の仕事である「写真」です。ライフワークの「富士山」を通じて支援の輪を広げることができないかと思い立ち、また写真家としてのメッセージとして続けてみよう、始めました。

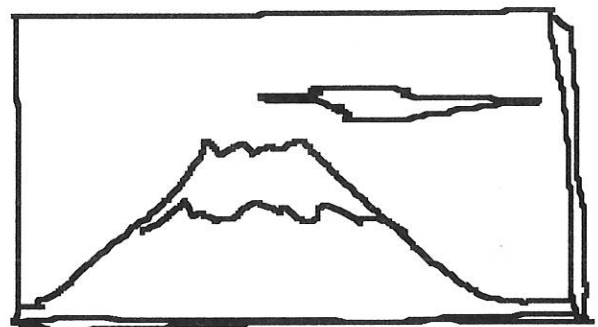
最初の3回の反応は、「へえ、偉いなあ」「きれいだなあ」で終わりました。それどころか「何でそんな一文にもならんことを？」のおまけの評価までつきました。・・・このままでは自己満足に終わってしまう。ロッキー田中の名にかけて「やるからには初志貫徹。必ずみんなを巻き込んで、しかもしっかりモトをとらなきゃ」と作戦を練り直しました。こうして取り入れたのは、マーケティング手法です。写真展をやる場所、一過性ではなく毎日目に入って、しかも印象深くなる見せ方、心に残るキャプションの付け方、手がでる作品価格の付け方、企業の協力取り付けなどいろいろ工夫するのです。結論からいえばその後の7回で作品は飛躍的に売れ始め、やっと収益が神戸に届けられました。今回のことで

つくづく私は、どんなに感動されても買って貰えなければ仮設住宅の人の支援にならないこと、チャリティあっても単なる同情心だけでは続かないことを思い知らされました。そこにはドライで冷静な計算（余り私の好きな表現ではないですが）と、人々を巻き込む工夫が存在するのです。仮設住宅の方はいまだに大変な生活をして見えます。だから続けようと思います。また写真展で私に共感して行動を起こしてくれる人がいて、その人たちの気持ちを届けてあげたいとも思うから。さらに嬉しいことに、こうして写真展を開くことによって、私の身の周りにも思いもかけないようなつながりができました。

私は神戸に縁もゆかりもありません。仮設住宅の方は私のことを知りません。それで充分ではないでしょうか。単なる衝動であり、それにかかれて自然体でやってただけです（最も若い時分に周りに迷惑ばかりかけていたから、その罪滅ぼしかも知れないですね）。震災のことを風化させないで一人でも思いやる気持ちで共感し、行動にしてくれたらいいなと思ってやっています。

このチャリティ写真展は、来年の1月18日から31日まで福井新聞社で第12回目が予定されています。ちょうど大震災から2周年、私の本来の活動もあるので、ここでいったん終了します。NGOの皆さん、私たちのかわりに献身してくれてありがとうございます。私にはそんな強さと優しさはありません。また機会を見つけて神戸に行きます。お元気で。できることは応援します。

1996・11・3 ロッキー田中



事務局より

じゃりみちが6ページに増えて数号が過ぎましたが、いかがでしょうか？レイアウト等いろいろ工夫はしているのですが、なにしろ素人なものでご迷惑をかけているかもしれません。これらに感してのご意見・ご感想頂けると非常に参考になります。また、FAX送信しているところも、郵送に切り替えておりますが、非常に山となつたお仕事を抱えながらの作業、なにとぞ失礼、手違いあるかもしれません。お許し下さいませ。記憶に頼っている作業ですのでじゃりみちが2通いくことがあります。その時はお知らせ下さい。

また、つながりを広げるためにも、全国での震災関連のイベントを募集しています。ございましたら事務局までお知らせ下さい。

ふきちゃんのキャラバン日記

3回目の1月17日をどう迎えようかな？ その2

先日、全国キャラバンの際に全国へお届けしている写真パネルを作り直しました。絶対に今日中に神奈川県・愛知県の2カ所の学園祭会場に送らなければヤバイ！という10月23日の朝、NGO事務局の山田光さんと鈴木隆太くん、ちびく3救援ぐるうぷからは、関東のキャラバンでお馴染みのガシキトラック運転手、中江川徹くんと、ちびく3のメンバー伊藤大輔くんが「プロジェクト結ぶ(ゆう)」事務所へ駆けつけてくれ、何とか新パネル30枚とメッセージシートが2セット完成。発送もぎりぎりセーフで、西宮市内の宅急便本部に持ち込み、間に合いました。「壊れたビルや道路などが復興していく一方で、置き去りにされるかのような人々の暮らしの様子を伝えたい」という想いで作っていましたが……。今後も、キャラバン事務局では制作を続けていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて。来年の1月17～19日に予定されている『市民とNGOの「国際」防災フォーラム』を前にして、この日のパネルの完成は、私にとって大きな勇気と元気の源になりました。今回のキャラバン日記は、みなさまへのフォーラム参加のお誘いの気持ちもこめ、この日気付いた私の今の素直な気持ちを掲載させて頂きます。私の個人的な話で大変恐縮ですが、どうぞお付き合い下さいませ。

実はこの日、私は朝から胃の痛い思いをしていました。ひかるちゃん、隆太くん徹くん、大輔くんという多忙な仲間たちを「結ぶ」の事務局まで来させてしまったという、自分の能力のなさを嘆く気持ちが強かったように思います。

「私がもっと仕事ができれば、彼らにわざわざ来てもらわなくても、パネルの60枚くらいなんとかなるかもしれへんのに……。特にひかるちゃんには、事前の打ち合わせや下準備などを含めて、かなりの時間とエネルギーを割いても

らっている。申し訳ないなあ。できるだけ早く帰ってもらえるようにしなくちゃ」と。ところが、その日は朝から「結ぶ」事務局はてんやわんやの大騒ぎで、とうとう3:30になってもほとんど私は身動きがとれずじまいでした。「マズイ！ 結局のところ何もしないまま移動の時間だ。」火曜日と金曜日の夕方は、唯一の私の本業である塾の指導者として過ごすことになっており、あっという間に塾への移動の時間が来てしまったのです。後3髪をひかれる思いで、

「後はよろしく」といい残し、私は独り学習塾へ向かいました。……。おもいつき自分を責めながら。結局みんなはぎりぎりで発送を間に合わせて、帰って行きました。「結ぶ」のスタッフの岩波さんも、みんなと一緒に残業。彼女を待つ子どもたちは大丈夫だったのだろうか？ この次第を振り返り、私は悲しくなっています。「あーあ。みなさんごめんなさい」……。ですが、その後しばらくして、私はふつと問いかけました。「せっかくできたのに

みんなが力をあわせて作ってくれたのに、私はひたすら落ち込んでいる。ちよつとくらい喜べないもんやろか……。？」すると急に気持ちに変化が見えはじめました。「こんな機会があったからこそ、ひかるちゃんたちが結ぶに来てくれたとは考えられないやろか？ 今日は結ぶのスタッフたちがとても楽しそうで、他のグループの人たちと一緒に仕事ができることを喜んでいるように見えた。それだけやない。もし私が独りで作っていたら、あんなに素敵なパネル

は生まれてきたんやろか？ ひかるちゃんと一緒に考えたり、ほかの人が写真の現像ほか色々な場面でご協力下さったからこそ、出来上がったパネルのはず。むしろみんなと一緒に作れたことを喜ぶことはできないのやろか？」次の日、岩波さんに、「遅くまで大変だったね。」と言うと、彼女は「私とっても楽しかった。若い子に囲まれて……。」とニコニコ顔で答えます。私はひかるちゃんにお詫びのFAXを流そうかと思っていました。が、「ああ、そう

か。やめよう」と決めました。結局、ひかるちゃんに送ったFAXの内容は、ここ数日一緒に写真パネルが作れて嬉しかったことと、これからも協力して全国キャラバンの仕事にも取り組んでいきたいと思っていることでした。もちろん、次回もこんなにぎりぎり良いとは思っていませんし、お互いに無理をしすぎないこと、忙しすぎる時には「あかん」とか「誰か助けて」って言い合いたいという気持ちを前提としています。「他人に甘えることになったらダ

メ」という気持ちでいたずらに自分を縛り、前へすす事を躊躇するクセのある私が、「周りの人に助けられながら、時にはしんどい思いも共有して、これからの活動を続けていきたい。」と思えたことは、何でもないことのように感じられ、とつても大きなできごとなのです。今後、私はこの日の気持ちを原点として全国のみなさまに向けて、「防災」フォーラムへの参加の呼びかけを進めていきたいと考えています。女子マラソンの有森裕子さんなどとともに、また全国

から駆けつけて下さる“トラック野郎”の方々とも、全国各地での様々な“しかけ”を準備中の方々とも、そしてこれからさまざまな形でこのフォーラムに参加・協力して下さるみなさまとも、「フォーラムがあったからこそ出会えた素敵な仲間たちと一緒に、自然災害からの復興をめざす時間を、共有できてよかった。」といった、気持ちを分け合えることを信じたいです。…どうやら明るい気持ちでみなさまへのお声かけができそうな気がします。「待てな

いよ。早く早く！」と思った方は、どうぞご連絡下さい。フォーラムの簡易案内と一緒に実行委員会の連絡先を掲載していただきます。また、リクエストなどもお待ちしております。

プロジェクト結ぶ 石井布紀子

企画委員会、実行委員会に参加して下さい。

- ★11/18 (月) 18:00～
企画委員会 (「仮設」NGO事務局1F)
- ★11/25 (月) 18:00～
実行委員会 (サンパル8F)
- ★12/10 (火) 13:30～
ボランティア説明会 (フェニックスプラザ2F)
- ★12/20 (金) 14:00～
合同委員会 (サンパル8F)

さん“と”物語

「世界で一番短い物語」募集中!!

来年の1月18日～19日に開かれる「防災」国際フォーラムに、「もつと、ずつと、きつと」のフレーズを使った物語、またはメッセージを送って下さい！テーマは震災。励ましの言葉でもかまいません。集まった作品は「防災」フォーラムでコンテストをします。もしかしたら豪華な賞品が・・・？

例：「もつと楽しも、ずつと見ていて、きつと戻る、ぼちぼちいこや！」とか・・・？

ロウソクを買って下さい！

1月17日の16:00頃、亡くなられた方々のためにロウソク追悼を行いたいと思います。一つ一つのロウソクに亡くなられた方のお名前を記入し、ご冥福を祈りたいと考えていますので、是非そのロウソクを買っていただき、一緒に追悼して下さい。ロウソクをとる場所は真光寺というお寺ですが、宗派を越えて行きたらと考えています。(1本500円)

トラック野郎用ステッカー 買って下さい。

あのキムタクが着ている「ガッツや神戸」のデザインをしているWAKKUNが描いてくれたステッカー。1枚700円。



問い合わせ先：

市民とNGOの「防災」国際フォーラム
 事務局 担当：細川・松村
 TEL078-578-6921 FAX078-578-6923

教室

情報コーナー

灘南ふれあい教室に参加しませんか？

灘南ふれあい教室は被災地に住む子どもたちに学習面のサポートをするボランティア団体です。勉強を楽しく気楽に長くできるように指導していきたくと考えています。塾ではありませんので気楽にご参加下さい。

対象：小・中・高校生

実施日：小学生の部・・・毎週（土）か（日）16:00～17:30

中・高生の部・・・毎週（木）19:00～21:00

指導科目：全科目と珠算

運営費：毎月500円（印刷代、おやつ代等）

先生：教師・大学生・塾の先生・資格を持っている方

問い合わせ先：ボランティアグループ・シティライト

灘南ふれあい教室代表責任者 竹村務 078-881-0191（自宅）
教室078-881-8539 または千歳敏 030-49-00715まで。

訪問

日時：11/9（土）13:00～18:00

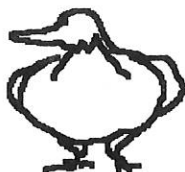
訪問先：室谷第2仮設住宅、26～45棟（176戸）

集合場所：地下鉄「西神南駅」13:00集合

訪問時間：14:30～17:00

約1時間レクチャーと班編成を行ったあと現地へ。（車のあるかたはご協力下さい。）

携帯 030-821-8575 鹿島又は携帯 080-121-9709 東條まで。



講座

ボランティア活動コーディネート講座

12/1（日）14:00～16:30 神奈川県民センター

12/7（土）14:00～16:30 巣鴨スポーツセンター

申し込み：郵送又はFAXで次の事項を下記へ。

参加者氏名・住所・電話（FAX）・所属団体名・参加希望の会場名と参加日

主催：エンカレッジング・ネットワーク・ハート

事務局：〒242 神奈川県大和市深見台2-13-17サンブリッジ 103

TEL0462-62-7030 FAX0462-62-7487 三宅まで

劇

アンネの日記 劇団「民芸」

11/27（水）19:00～21:00 大阪森ノ宮ビレイホール

被災地の若者、ボランティア、50名ほどご招待。

希望者は17日までに下記へ連絡下さい。

問い合わせ先：ちびくろ救援ぐるうぷ

担当：よしの TEL078-671-1442



学習会など

兵庫県とのオールラウンド交渉に向けた学習会

11/16（土）13:00～16:00 兵庫県教育会館

兵庫県とのオールラウンド交渉

11/26（火）10:00～17:00 ひょうご共済会館

加古川 第4回「障害児の就学を考える集会」

11/23（土）13:30～ 加古川市立文化会館

問い合わせ先：えんぴつの家気付 担当：大賀

TEL078-672-0845 FAX078-672-8797

・・・仮設支援情報・・・

ボランティア募集

ボランティアグループ・シティライトの共同作業所でボランティア募集します！

内容：さをり織り・牛乳パック再生手際はがき作り・カーボランティア（お店の配達、メンバーの送迎）・月2回のお茶会運営手伝い・ふれあい喫茶の手伝い・灘区仮設住宅学習教室での小学生の指導。

問い合わせ先：ボランティアグループ・シティライト
TEL/FAX078-521-1750

さしあげます

方言入り湯のみさしあげます。

高松にすむ書人、池田秋涛さんの書のはいった砥部焼の湯呑み。島原の災害の時に、この湯呑みは送られたそうです。「湯呑みは毎日使うものだし、メッセージをみるたびに高松からも忘れずに応援している人間がいることを思い出してくれたら」と、日常に使われる素朴な方言を焼きこんであります。今回は被災されてご家族がなくなられた方にこの湯呑みをお渡ししたいそうです。ご家族をなくされた方をご存知でしたら、ご紹介下さい。問い合わせ：事務局まで

介護支援ベッドさしあげます。

セミダブルの電動介護支援ベッド。ほとんど新品同様です。無料で提供いたします。

問い合わせ先：プロジェクト 1-2（ワン・ツー） 有光るみ
TEL078-576-4795 携帯030-67-20024

活動

エンカレッジング・ネットワーク・ハート活動プログラム説明会

12/15（土）12:00～14:00

12/16（日）10:00～12:00 山陽学院（大阪）

内容：ENH活動の紹介・災害被災地対象企画プログラムの紹介・情報交換

事務局：〒242 神奈川県大和市深見台2-13-17サンブリッジ 103
TEL0462-62-7030 FAX0462-62-7487 三宅まで

イベント

’96マイ・マイ・フェスティバル

～差別なく共に生きるための異文化交流～

「人種差別撤廃条約」を！

11/17（日）11:00～16:00 入場無料

大阪府同和地区総合福祉センター

主催：マイ・マイ・フェスティバル実行委員会

TEL06-910-7103

ください

ハギしを下さい。

仮設住宅で手芸品を作るのにハギしを集めています。少し大きめのハギし布で柄は何でもOK！

問い合わせ：プロジェクト結ぶ「ねつけちゃん」係
TEL0798-64-5829